

# 第2次

概要版

# みどりの風吹くまちビジョン

# 改定アクションプラン



令和4年(2022年)3月 練馬区

## 第2次みどりの風吹くまちビジョン 改定アクションプランの策定にあたって

練馬区に住んで38年になります。都内の数ある自治体の中から、練馬区が良いと積極的に選択して住み始め、今では第2の故郷となりました。子どもを育て上げ、母親2人を看取り、みどりのなかで日々のジョギングを楽しみ、充実した生活を送ってきました。

区長に選んでいただいた以上は、微力ながら、理想の自治体行政を目指して全力を尽くそう、そう決意し、この8年間、政策と行政運営の両面にわたり、様々な「練馬区モデル」を構築し、練馬区の発展に懸命に取り組んできました。

特にこの2年間は、新型コロナウイルス感染症から区民の命と健康を守り、生活を支えるために、他に先駆けて様々な施策を実行してきました。国と綿密に協議して構築したワクチン接種体制「練馬区モデル」は、今では全国自治体の標準となっています。

このまちには、未だ大きな可能性が眠っています。みどりを更に増やし、教育・福祉・医療サービスを充実し、道路や公共交通など都市インフラを整備して、子どもから高齢者まで心豊かに暮らせるまちにしたい。

今回策定した「第2次みどりの風吹くまちビジョン 改定アクションプラン」は、練馬区の目指す将来像の実現に向けて、コロナ禍における緊急対応も含め、令和4、5年度に具体的に取り組む内容を定めたものです。

コロナ禍のなか厳しい状況が続いていますが、皆様と手を携えてこの難局を乗り越え、練馬区モデルを進化させ、練馬区政を更に発展させたい。そう決意しています。

令和4年3月

練馬区長 前川燿男



## 目次

改革ねりま これまで・これから	1
「第2次みどりの風吹くまちビジョン 改定アクションプラン」について	3
改定アクションプランの施策の体系	4
施策の柱1 子どもたちの笑顔輝くまち	5
施策の柱2 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち	7
施策の柱3 安心を支える福祉と医療のまち	9
施策の柱4 安全・快適、みどりあふれるまち	11
施策の柱5 いきいきと心豊かに暮らせるまち	13
施策の柱6 区民とともに区政を進める	15
新型コロナウイルス感染拡大への対策	16

# — 改革ねりま これまで・これから —

## ビジョン (政策)

27年3月  
みどりの風吹くまち  
ビジョン  
策定



27年6月  
ビジョン  
アクションプラン  
(27~29年度)  
策定

30年3月  
ビジョン  
アクションプラン  
(30・31年度)  
策定

27年3月  
よりどりみどり練馬  
プロジェクトスタート

23区で子育てしやすい街 No.1に！  
23区で家族で暮らしやすそうな街2位に！

28年3月  
人口72万人を突破！

29年8月1日  
練馬区独立70周年

26年度

27年度

28年度

29年度

### I 子どもたちの 笑顔輝くまち

- ・全国初区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」創設
- ・おひさまびよびよ 開始

- ・「保育所待機児童ゼロ作戦」開始
- ・練馬型放課後児童対策事業「ねりっこクラブ」開始
- ・「練馬区教育・子育て大綱」策定

- ・保育定員 さらに拡大
- ・都と連携し児童虐待・育児孤立防止へ見守り訪問・要支援家庭ショートステイ 開始

### II 高齢者が住み なれた地域で 暮らせるまち

- ・「介護予防・日常生活支援総合事業」を23区で最初にスタート

- ・街かどケアカフェこぶし 開設
- ・はつらつシニアクラブ 開始
- ・特別養護老人ホーム整備 加速施設数都内1位

- ・元気高齢者による介護施設業務補助事業を開始

### III 安心を支える 福祉と医療の まち

- ・日大光が丘病院問題解決

- ・重症心身障害児(者)の家族支援在宅レスパイト事業開始
- ・重度障害者グループホーム整備(10室)

- ・ひとり親家庭ニーズ調査実施

- ・ひとり親家庭自立応援プロジェクト 開始
- ・福祉事務所の体制の強化
- ・回復期リハビリテーション新病院 開院
- ・「練馬光が丘病院改築基本構想」策定

### IV 安全・快適、 みどりあふれる まち

- ・西武新宿線立体化促進協議会 発足

- ・大江戸線延伸が都の優先的整備検討路線に位置付け
- ・都市計画マスタープラン 改定
- ・都市計画道路「第四次事業化計画」策定
- ・都内最長の優先整備路線
- ・練馬区エネルギービジョンを策定
- ・こどもの森・美術の森 開園

- ・大江戸線延伸が国の「進めるべきプロジェクト」に選定
- ・四季の香ローズガーデン・清水山の森・中里郷土の森 緑地 開園

- ・関越道高架下4施設 開設
- ・区独自の空き家・「ごみ屋敷」対策条例 制定
- ・大江戸線延伸推進基金 積み増し(累計36億円)
- ・西武新宿線立体化促進大会 開催
- ・「無電柱化推進計画」策定

### V いきいきと 心豊かに 暮らせるまち

- ・練馬こぼしハーフマラソン 初開催
- ・農の学校開校

- ・まちゼミねりま・ねりマルシェ初開催
- ・産業見本市・練馬まつり 同時開催
- ・大泉アニメゲートオープン

- ・みどりの風練馬新能初開催
- ・区文化振興協会理事長 大谷康子氏 就任
- ・ユニバーサルスポーツフェスティバル 初開催
- ・石神井観光案内所 開設

- ・果樹あるファーム支援・ねりマルシェ 充実
- ・世界都市農業サミット 開催準備 本格化

### VI 区民とともに 区政を進める

- ・練馬の未来を語る会 初開催

- ・ねりまビッグバン開始
- ・よりどりみどり練馬CM 放映

- ・みどりの区民会議 設置
- ・協働推進課 設置
- ・ねりまちレポーター 創設

- ・区民参加で独立70周年記念事業 展開
- ・真夏の第九・練馬新能、記念パレードなど 開催
- ・地域おこしプロジェクト 開始

## 区政改革

ビジョンに掲げる政策を実現する仕組みや態勢を見直す

27年6月  
区政改革推進会議  
設置

27年12月  
練馬区のこれからを  
考える発表

28年3月  
区政改革推進会議より  
「区政改革に関する提言」

28年10月  
区政改革計画  
策定  
情報化基本計画

29年3月  
公共施設等総合  
管理計画  
学校施設管理基本計画

29年12月  
人事・人材育成計画  
職員定数管理計画  
外郭団体見直し方針

30年6月  
グランド  
デザイン構想  
策定

31年3月  
第2次  
みどりの風吹く  
まちビジョン・  
アクションプラン  
[戦略計画]  
策定

元年6月  
第2次ビジョン・  
アクションプラン  
[元年度～3年度]  
策定

4年3月  
第2次  
みどりの風吹く  
まちビジョン  
改定アクションプラン  
策定

30年4月  
人口73万人を突破!

本当に住みやすい街大賞第2位に!  
(大泉学園)

2年4月  
人口74万人を突破!

新型コロナウイルス感染症感染拡大↓事業の緊急見直しを実施

30年度

- ・3歳児1年保育開始
- ・「のびのびひろば」開始
- ・小中学校体育館空調設備整備着手
- ・区立幼稚園での預かり保育開始
- ・不登校児童生徒への支援の充実

- ・地域包括支援センター25か所に再編・充実
- ・高齢者世帯等への訪問支援事業開始

- ・練馬区初の障害児保育園開設
- ・順天堂練馬病院増築棟建設着工

- ・心身障害者福祉手当精神障害者へ拡大

- ・西武新宿線連続立体交差化計画 都市計画素案(原案)説明会開催

- ・大江戸線延伸推進基金積み増し(累計43億円)
- ・学校ブロック塀など緊急対策実施

- ・美術館再整備構想策定着手
- ・世界都市農業サミット・プレイベント開催
- ・真夏の音楽会 初開催

- ・地域おこしプロジェクト充実

- ・協働ワークショップ開催
- ・公園や憩いの森の区民管理拡充

令和元年度

- ・練馬こども園 新たな仕組みの充実
- ・テレビ会議システムによる都児童相談センターと子ども家庭支援センター連携強化
- ・練馬こどもカフェ 開始

- ・コンビニエンスストア・薬局と協働した新たな街かどケアカフェ 開始
- ・高齢者等の住まい確保支援事業 開始

- ・順天堂練馬病院増築棟診療開始

- ・大江戸線延伸推進基金目標額到達(累計50億円)

- ・西武鉄道「練馬駅」ホームドア整備
- ・危険なブロック塀等の撤去費用 助成開始

- ・世界都市農業サミット開催
- ・映像∞文化のまち構想素案公表
- ・ねりまランタンフェスティバル 開催

- ・窓口改革 開始

- ・窓口情報提供システム 区民事務所等へ導入

2年度

- ・練馬発 都区合同”練馬区虐待対応拠点” 設置
- ・こども分野などに従事するエッセンシャルワーカーへの特別給付金支給
- ・全国初 LINEを活用した“保活”支援サービス開始
- ・小中学校の全児童生徒へのタブレットPC配備完了

- ・区独自 ひとり親家庭支援のための臨時特別給付金支給
- ・高齢者施設へ、新規入所者のPCR検査費用助成
- ・成年後見制度利用促進強化

- ・新型コロナに関する「生活相談コールセンター」開設

- ・ワクチン接種体制の練馬区モデルを構築
- ・練馬光が丘病院移転・改築建設工事に着手
- ・PCR検査検体採取センター開設

- ・石神井公園駅南口西地区再開発事業 都市計画決定
- ・防災まちづくり推進地区3地区指定・取組推進
- ・区内初 実地での土砂災害訓練実施

- ・東京あおば農業協同組合と都市農業の振興・都市農地の保全に関する協定 締結
- ・中小企業への特別貸付の実施
- ・商店街のプレミアム付商品券事業への支援

- ・練馬区民事務所 リニューアルオープン

- ・申請書一括作成システム 運用開始

3年度

- ・保育所待機児童ゼロ達成
- ・区独自の学童クラブ待機児童対策「ねりっこプラス」開始
- ・多胎児家庭への支援の充実
- ・“保活”支援サービス新機能「保育指数シミュレーション」を提供開始

- ・高齢者みんな健康プロジェクト開始
- ・もの忘れ検診の開始

- ・ワクチン接種体制「練馬区モデル」展開
- ・練馬区酸素・医療提供ステーションを開設

- ・順天堂練馬病院90床増床
- ・生活サポートセンターの相談支援員増員

- ・四季の香ローズガーデン リニューアルオープン

- ・西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間) 連続立体交差化計画 都市計画決定

- ・オリンピックでデンマーク、パラリンピックでエクアドルのホストタウンに
- ・映像∞文化のまち構想 策定
- ・美術館再整備基本構想 策定

- ・中小企業への借換特別貸付の実施
- ・商店街等でキャッシュレス決済ポイント還元事業実施
- ・区役所に農産物自動販売機設置

- ・マイナンバーカードの交付体制強化

- ・電子申請サービス拡大

30年3月  
公共施設等  
総合管理計画  
【実施計画】

31年3月  
学校施設管理  
実施計画

2年3月  
公共施設等  
総合管理計画  
【実施計画】  
情報化基本計画

4年3月  
公共施設等  
総合管理計画  
【実施計画】  
策定



# 「第2次みどりの風吹くまちビジョン 改定アクションプラン」について

## 1 策定の目的

区は、平成30年6月に、区政を更に前に進めるため、「暮らし」・「都市」・「区民参加と協働」の3つの分野からなる「グランドデザイン構想」を策定し、目指す将来像を区民の皆様と共有しました。

グランドデザイン構想の実現を目指し、新たな総合計画として平成31年3月に「第2次みどりの風吹くまちビジョン」（以下「第2次ビジョン」といいます。）を策定しました。これまで、第2次ビジョンに基づき、様々な「練馬区モデル」を構築し、実現してきました。

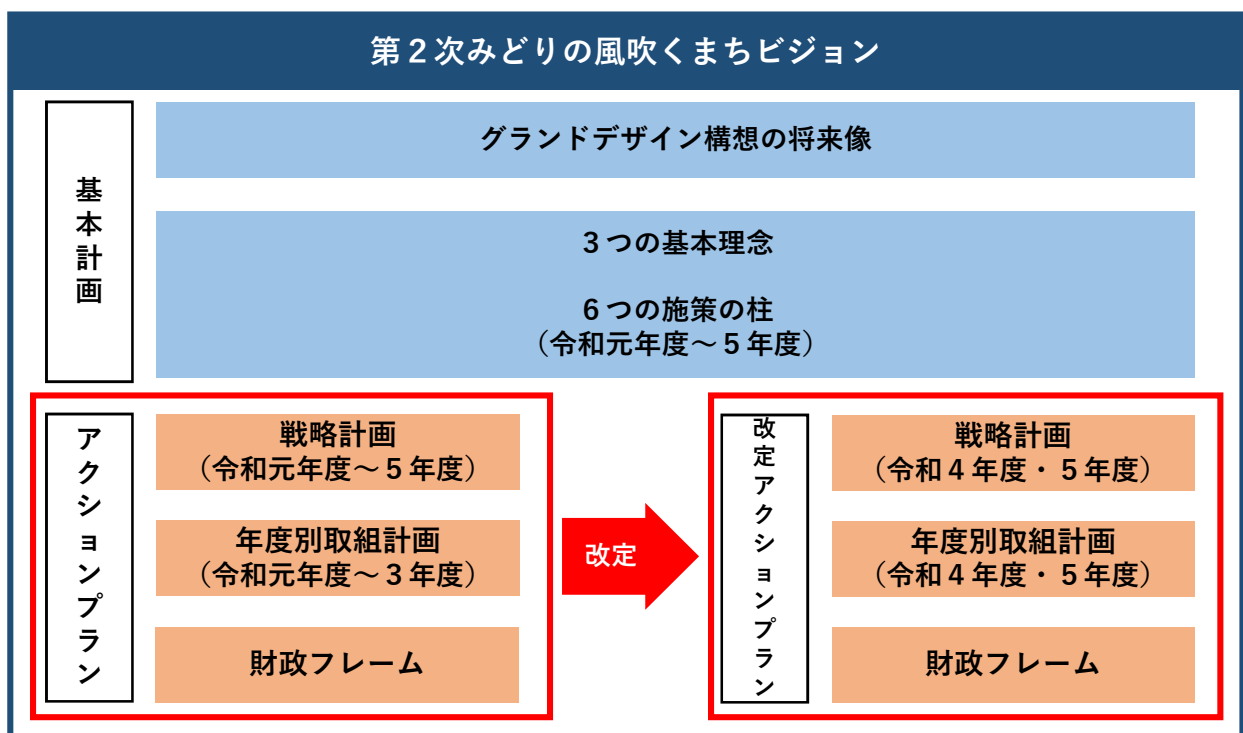
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済・財政状況など、区政を取り巻く環境は大きく変化し、非対面・非接触の生活、デジタル化の加速など、区民生活にも大きな影響を及ぼしています。

コロナ禍においても、第2次ビジョンに定める基本理念や区の目指す姿は大きく変わるものではありませんが、社会情勢の変化を踏まえた見直しが必要です。引き続き、区民生活を支える上で必要な施策を充実するとともに、この間に生じた新たな課題に対応するため、令和4年度から5年度の2か年の取組を定める「改定アクションプラン」を策定しました。

## 2 改定アクションプランの構成・位置付け

- 改定アクションプランの策定に当たり、第2次ビジョンに掲げた「3つの基本理念」や「6つの施策の柱」などは継承しつつ、社会情勢の変化に対応するため、戦略計画の見直しや追加を行いました。
- 本プランは、22の「戦略計画」とそれに基づく「年度別取組計画」、「財政フレーム」で構成されます。
- 第2次ビジョン基本計画と併せて区の新たな総合計画（地方版総合戦略）として位置付けます。

【改定後の第2次ビジョン体系図】



# 改定アクションプランの施策の体系

## 施策の柱 1 子どもたちの笑顔輝くまち

- 戦略計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現
- 戦略計画2 子どもたちの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実
- 戦略計画3 すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり
- 戦略計画4 夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成

## 施策の柱 2 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

- 戦略計画5 高齢者地域包括ケアシステムの確立
- 戦略計画6 元気高齢者の活躍と健康づくり・介護予防の推進

## 施策の柱 3 安心を支える福祉と医療のまち

- 戦略計画7 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備
- 戦略計画8 ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援
- 戦略計画9 感染症対応力の強化と安心して医療が受けられる体制の整備
- 戦略計画10 コロナ禍を乗り越える区民一人ひとりの健康づくりを応援

## 施策の柱 4 安全・快適、みどりあふれるまち

- 戦略計画11 地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」
- 戦略計画12 みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備
- 戦略計画13 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり
- 戦略計画14 練馬のみどりを未来へつなぐ
- 戦略計画15 脱炭素社会の実現に向けた総合的な環境施策の展開

## 施策の柱 5 いきいきと心豊かに暮らせるまち

- 戦略計画16 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり
- 戦略計画17 生きた農と共存するまち練馬
- 戦略計画18 みどりの中で優れた文化芸術を楽しめるまち
- 戦略計画19 みどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち

## 施策の柱 6 区民とともに区政を進める

- 戦略計画20 区民協働による住民自治の創造
- 戦略計画21 窓口から区役所を変える
- 戦略計画22 DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

# 施策の柱 1 子どもたちの笑顔輝くまち

## 戦略計画 1 子育てのかたちを選択できる社会の実現

### これまでの主な取組

- ▶ 「練馬こどもカフェ」の創設や子育てのひろばなどを増設
- ▶ 区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」の拡大や全国トップレベルの保育所整備により、待機児童ゼロを達成！
- ▶ 全国初、LINEで“保活”支援サービスの提供を開始



<練馬こどもカフェ>



<外遊び型子育てのひろば>

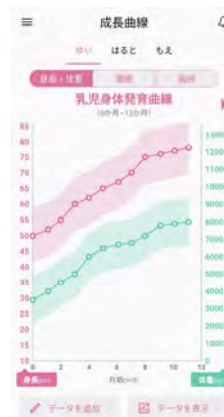
### 令和4・5年度の主な取組

- 子育てのひろばや外遊び型子育てのひろばを増設します。
- 店舗自ら子育て講座等を行う、自主運営型の練馬こどもカフェを試行・実施します。
- 待機児童ゼロを継続できるよう、保育所整備や練馬こども園の拡大を進めます。
- 「3歳の壁」解消に向けた優先選考方式や医療的ケア児の優先選考方式を導入します。
- スマホやパソコンからのオンライン入園申請を開始します。
- 保護者が園との連絡をスマホで行えるよう、保育所のICT化を進めます。

## 戦略計画 2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実

### これまでの主な取組

- ▶ 妊婦健診や乳幼児健診の健診情報等を電子化する「母子健康電子システム」やスマートフォン等で健診記録を確認できる「ねりますくすくアプリ（電子母子手帳アプリ）」を導入
- ▶ 子どもの成長、発達に不安を抱える保護者への相談体制を強化するため、全6か所の保健相談所に心理相談員を配置
- ▶ 都内初、「練馬区虐待対応拠点」の設置



<電子母子手帳アプリ ※イメージ>

### 令和4・5年度の主な取組

- 都は、(仮称) 都立練馬児童相談所を令和6年度に区の子ども家庭支援センターと同一施設内に設置します。都と区の連携を強化し、児童相談体制を更に充実します。
- 産後ケア事業（デイケア・産後ケア訪問）の利用可能日数（回数）を拡大します。
- 保健相談所の心理相談員を増員し、家庭等への訪問を開始するなど、相談体制を充実します。
- 地域の子ども家庭支援センターも訪問等を行い、児童虐待の再発防止を更に強化します。
- 子育て支援サービスを簡単に選択できる(仮称) ねりま子育て支援アプリを導入します。



## 戦略計画3 すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり

### これまでの主な取組

- ▶ 「学童クラブ」と「ひろば事業」を一体的に行う「ねりっこクラブ」を令和3年度までに37校で実施。また、待機児童対策として「ねりっこプラス」を開始
- ▶ 夏休みの小学生の居場所として、夏休み居場所づくり事業を拡充
- ▶ 民間学童保育施設を15施設誘致

### 令和4・5年度の主な取組

- ねりっこクラブの早期全校実施に向け、取り組みます（令和4年4月全65校中45校実施）。
- 学童クラブの待機児童を対象に区独自の待機児童対策「ねりっこプラス」を実施します。
- 医療的ケアが必要な児童が学童クラブに通いやすくなるよう、受入れ施設を拡大するとともに、障害児枠とは別に、医療的ケア児の受入れ枠を設け、優先選考を実施します。



## 戦略計画4 夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成

### これまでの主な取組

- ▶ 全児童生徒へのタブレットパソコンの配備、ICT支援員の大幅増員、教育ICT実践事例集を作成
- ▶ 小中学校体育館への空調設備整備
- ▶ 地域人材による学習支援を79校で実施
- ▶ 不登校児童生徒を対象にした適応指導教室の開設、「中3勉強会」の拡充、医療的ケア児の支援



<タブレットPCを活用した授業>



<地域と連携した農業体験学習>

### 令和4・5年度の主な取組

- 不登校に関する実態調査を実施します。調査結果とこれまでの取組について分析・検証し、不登校対策を見直します。
- 医療的ケア児に対する新たな支援方針を策定し、方針に基づく支援を実施します。
- ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげるため、実態調査や啓発、研修に取り組みます。また、教育、子育て、福祉などの各部門が連携した相談・支援体制を充実します。
- 教員全体のICT活用能力を高めます。通信環境を強化し、ICTを活用した教育効果の高い授業を実施します。
- 実践的な英語を活用する場として、中学1年生を対象とした宿泊学習である夏季イングリッシュキャンプを実施します。
- 区の特徴である都市農業を生かし地域と連携した教育を推進します。全区立小学校において農業者と連携した体験学習を充実します。

# 施策の柱 2 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

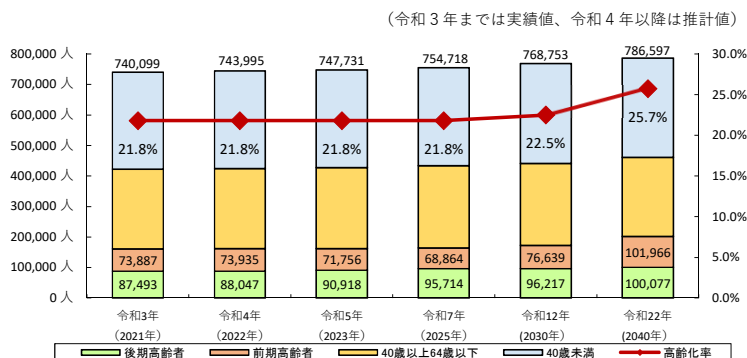
## 戦略計画 5 高齢者地域包括ケアシステムの確立

### これまでの主な取組

- ▶ 特別養護老人ホームは 6 施設、都市型軽費老人ホームは 4 施設、看護小規模多機能型居宅介護は 4 施設を整備  
→ 施設数はいずれも都内最多
- ▶ 成年後見制度利用促進基本計画を策定  
練馬区社会福祉協議会による法人後見を開始

### 令和 4・5 年度の主な取組

- 地域包括支援センターの増設、区立施設等への移転準備を進めます。
- 認知症に早期に気づき適切な支援を受けられるよう、「もの忘れ検診」を実施します。
- 高齢者本人や介護するご家族に向け、見守り ICT 機器の利用促進に取り組みます。
- 特別養護老人ホーム等の整備を進めます。
- 練馬光が丘病院跡施設では医療・介護の複合施設（介護分野では介護医療院、看護小規模多機能型居宅介護、介護福祉士養成施設等）を整備します。
- 介護・障害分野の研修センターを統合し、福祉人材の確保・育成・定着支援を強化します。

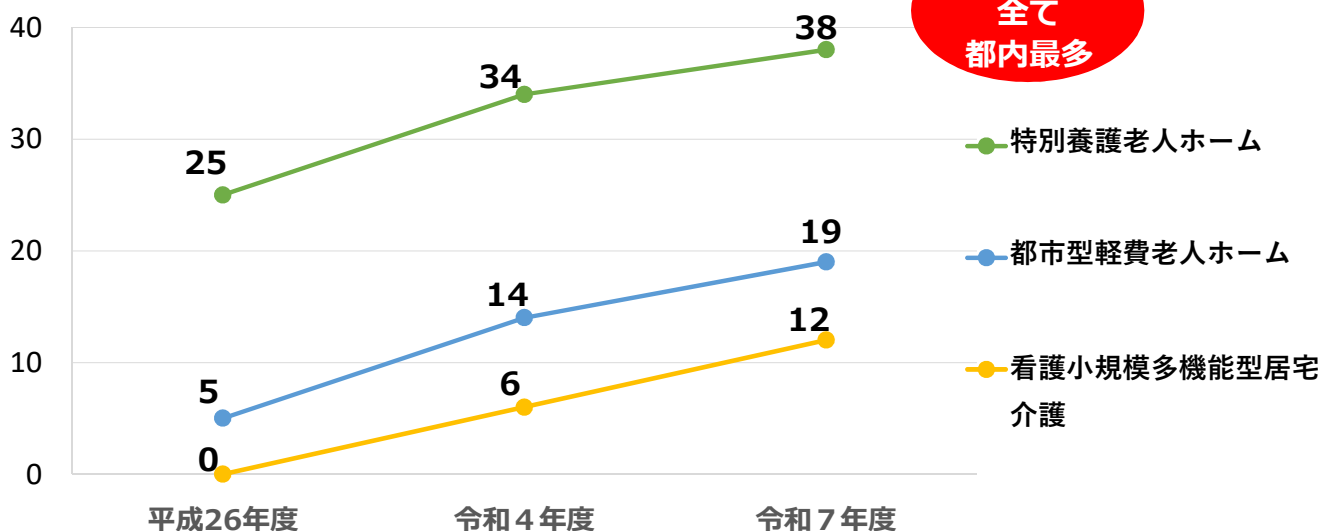


< 高齢者人口の推移 >

### 住みなれた地域で暮らすために ～都内最多の施設整備を進めます～

令和 7 年に、団塊世代の全ての方が 75 歳以上の後期高齢者となります。介護が必要になっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、特別養護老人ホーム等の施設整備や在宅サービスの充実を進めてきました。引き続き、特別養護老人ホームの増設・増床、都市型軽費老人ホームの整備などを進めます。

【施設等整備状況】



## 戦略計画 6 元気高齢者の活躍と健康づくり・介護予防の推進

### これまでの主な取組

- ▶ 高齢者の起業を支援する「シニアセカンドキャリア応援プロジェクト」、趣味や特技を活かした高齢者の地域活動を応援する「はつらつシニア応援プロジェクト」を展開
- ▶ 地域住民が気軽に集い、介護予防や健康について学んだり相談ができる地域の拠点である「街かどケアカフェ」を充実



<街かどケアカフェ>

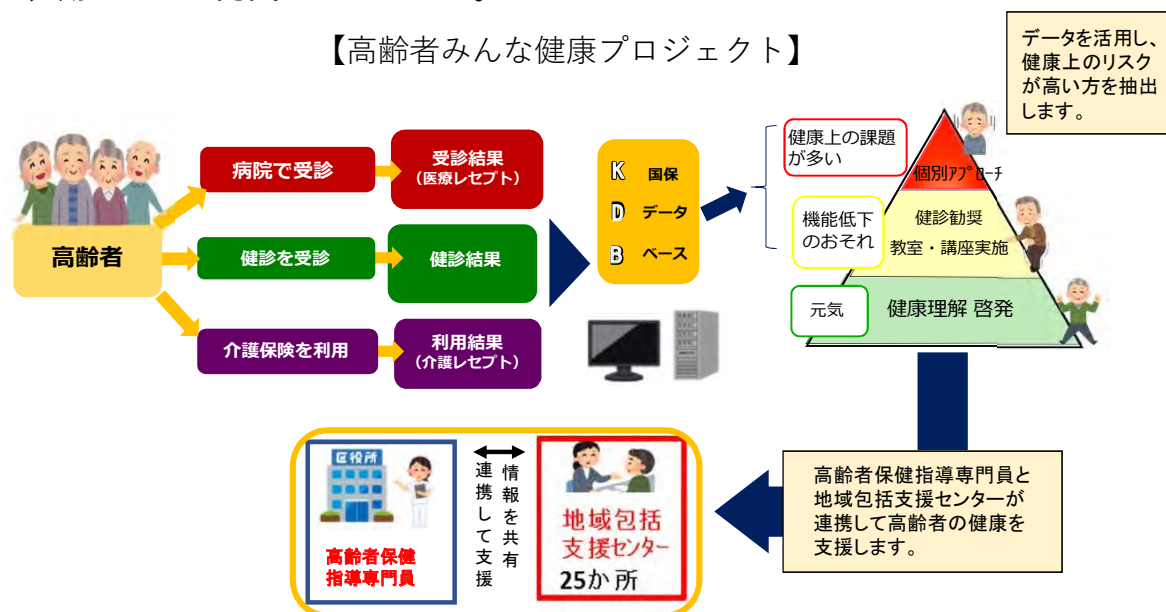
### 令和4・5年度の主な取組

- 区が保有する医療・健診・介護等のデータを活用し、高齢者一人ひとりの状態に応じた支援を行う「高齢者みんな健康プロジェクト」を充実します。
- はつらつセンターのほか、敬老館や街かどケアカフェにてオンラインによる健康教室等を実施します。
- 交流・相談・介護予防の拠点となる「街かどケアカフェ」を増設します。
- 元気高齢者が軽作業等の就労を行う介護施設等を拡大します。

## 住みなれた地域で暮らすために ～一人ひとりの状態に応じた支援を充実～

糖尿病やフレイルなど、健康上の課題をかかえる高齢者を総合的に支援する「高齢者みんな健康プロジェクト」に取り組んでいます。区が保有する医療・健診・介護などのデータを横断的に利用することで、一人ひとりに合った支援を行います。健診未受診者への郵送による受診勧奨を行うなど、働きかけを充実していきます。

### 【高齢者みんな健康プロジェクト】



# 施策の柱 3 安心を支える福祉と医療のまち

## 戦略計画 7 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備

### これまでの主な取組

- ▶ 重度障害者の生活基盤の整備
  - ・北町2丁目に多機能型の地域生活支援拠点を整備
  - ・大泉つつじ荘を重度障害者グループホームに転換
- ▶ 企業や支援機関と連携し、障害者の就労を支援
- ▶ 精神疾患未治療者への訪問支援や重度障害児の居宅への訪問事業など、きめ細やかな支援を実施



<こども発達支援センターでの支援の様子>

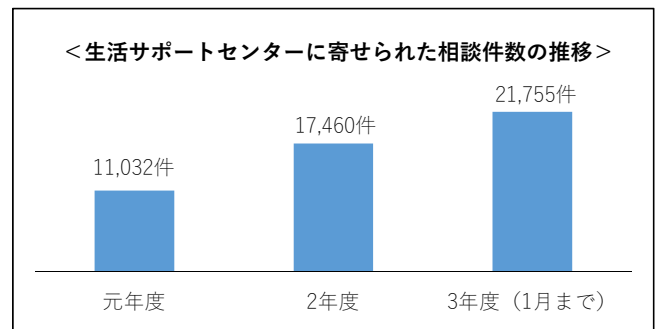
### 令和4・5年度の主な取組

- 旧高野台運動場用地に民間事業者による福祉園を令和4年度に開設します。
- 共生型サービスを活用したショートステイを区内特別養護老人ホームの空床を利用し開始します。
- 練馬光が丘病院の空床を利用し、医療的ケアに対応したショートステイを開始します。
- こども発達支援センターで、障害児の一時預かり事業を開始します。
- 「(仮称)練馬区障害者の意思疎通に関する条例」を制定し、ICTを活用した遠隔手話通訳や情報支援機器の利用支援等の取組を開始します。

## 戦略計画 8 ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援

### これまでの主な取組

- ▶ ひとり親家庭自立応援プロジェクトの展開  
訪問型学習支援事業、離婚前後の課題解決のための弁護士の配置等、支援メニューは23区で最も充実
- ▶ 練馬総合福祉事務所に、子育て、介護、生活困窮など複合的な課題に対する相談窓口や支援内容を調整する部署を新たに設置



### 令和4・5年度の主な取組

- 新型コロナウイルスがひとり親家庭に与えた状況について調査を実施し、支援を更に充実します。
- ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげるため、実態調査や啓発、研修に取り組みます。また、教育、子育て、福祉などの各部門が連携した相談・支援体制を充実します。
- 生活サポートセンターの相談支援員を更に増員し、定期的な相談を石神井庁舎内で開始するとともに、より身近な場所でのアウトリーチ事業を開始します。
- 生活保護受給世帯の自立支援の取組を進めます。就労支援について、ケースワーカーと就労サポーター、ハローワーク等が連携し、生活困窮から生活保護に至るまで切れ目のない支援を実施します。



## 戦略計画 9 感染症対応力の強化と安心して医療が受けられる体制の整備

### これまでの主な取組

- ▶ 順天堂練馬病院を90床増床、救急医療や小児・周産期医療等の医療機能の拡充
- ▶ 練馬光が丘病院跡施設に医療・介護の複合施設を整備する事業者を選定
- ▶ 「医療連携・在宅医療サポートセンター」を、練馬区医師会に設置、在宅医療の提供体制を推進



<一般・療養病床数の推移>

### 令和4・5年度の主な取組

- 新興・再興感染症の拡大に備えて、医療機関等に福祉施設、保育園・学校等を加えたネットワークを構築し、連携を強化します。さらに、感染症対応に関する役割分担の見直しに向け、国や都に働きかけます。
- 順天堂練馬病院において、感染症拡大時の医療体制や三次救急レベルの医療機能の整備を促進します。
- 移転後の練馬光が丘病院では、高度急性期・急性期機能の充実や、光が丘地域初の回復期機能の病床を整備します。
- 慈誠会・練馬高野台病院では、回復期・慢性期機能の病床を218床整備します。
- 練馬光が丘病院跡施設では医療・介護の複合施設（医療分野では緩和ケア病床や地域包括ケア病床など）を整備します。

## 戦略計画10 コロナ禍を乗り越える区民一人ひとりの健康づくりを応援

### これまでの主な取組

- ▶ 練馬区健康管理アプリ「ねりまちてくてくサプリ」ウォーキングコースの拡充、約20,000人の方が登録
- ▶ 自殺防止対策の要となる人材、ゲートキーパー育成のための講座を開催
- ▶ 健診会場の保育サービスを実施し、胃内視鏡検査受診機関を増加



<「ねりまちてくてくサプリ」>

### 令和4・5年度の主な取組

- 特典が得られる健康インセンティブ事業を実施するなど「ねりまちてくてくサプリ」を充実します。禁煙、がん、糖尿病、女性の健康など、様々なテーマについて学べるオンラインイベントを開催します。
- ゲートキーパーの役割を学ぶための動画を配信します。心の健康に関するホームページの内容を充実します。
- 健診会場の保育サービスを充実します。受診日を指定できるインターネット申込みを開始します。
- 自分が受けられるがん検診が一目でわかるよう受診券のチケット化を進めます。
- がん患者やその家族を支援する、がん患者支援連絡会を設置します。ニーズ調査を実施し、連絡会での議論を踏まえ支援事業を検討します。



# 施策の柱 4 安全・快適、みどりあふれるまち

## 戦略計画11 地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」

### これまでの主な取組

- ▶ 密集住宅市街地整備促進事業の推進
- ▶ 区独自の「防災まちづくり推進地区」の指定・事業の推進
- ▶ 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化
- ▶ 水害リスクの高い3地区で地域住民との協働による「地域別防災マップ」を作成

### 令和4・5年度の主な取組

- 密集住宅市街地整備促進事業を推進します。  
(貫井・富士見台地区、桜台東部地区)
- 防災まちづくり推進地区における事業を推進します。  
(田柄地区、富士見台駅南側地区、下石神井地区)
- 一般緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進します。
- 水害リスクの高い6地区で地域住民との協働による「地域別防災マップ」の作成・訓練を推進します。

## 戦略計画12 みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備

### これまでの主な取組

- ▶ **都市計画道路の整備**  
優先整備路線に位置付けられた路線18.5kmのうち、約3.9kmを事業着手
- ▶ **西武新宿線の立体化**  
井荻駅～西武柳沢駅間の連続立体交差化計画等を都市計画決定
- ▶ **大江戸線の延伸**  
東京都の「未来の東京戦略」において事業着手に向けた位置づけが明記  
東京都と実務的協議を実施
- ▶ **公共交通空白地域改善の推進**  
みどりバスのバス停3箇所増設・一部ルート切り替え

### 令和4・5年度の主な取組

- **都市計画道路の整備**  
優先整備路線について、新たに約3.5kmの事業着手に向けて取り組みます。
- **西武新宿線の立体化**  
連続立体交差事業および鉄道付属街路等の事業に着手します。
- **大江戸線の延伸**  
都と連携して、区においても調査・検討を行い、早期事業化を目指し協議を進めます。
- **公共交通空白地域改善の推進**  
みどりバスの保谷ルートの再編や、練馬光が丘病院の移転・改築に伴うルートの延伸を行います。

## 戦略計画13 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり

### これまでの主な取組

- ▶ **西武新宿線沿線のまちづくり**  
(上石神井・武蔵関・上井草)  
駅周辺地区のまちづくりについて検討・協議
- ▶ **大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり**  
大江戸線延伸地域4地区で地区計画決定
- ▶ **石神井公園駅周辺地区のまちづくり**  
駅南口西地区市街地再開発事業および駅南地区地区計画変更を都市計画決定
- ▶ **鉄道駅や周辺のバリアフリー化**  
鉄道事業者等との協議  
駅と主要な公共施設を結ぶ経路のバリアフリー整備

### 令和4・5年度の主な取組

- **西武新宿線沿線のまちづくり**  
駅周辺地区のまちづくりを推進します。また、交通広場等の事業に着手します。
- **大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり**  
延伸地域の地区計画と、(仮称)大泉学園町駅予定地周辺の駅前広場や建築物の共同化の検討を進めます。
- **石神井公園駅周辺地区のまちづくり**  
駅南口西地区市街地再開発事業の事業着手に向けた取組等を支援します。南口商店街においては、街並み整備に向けて検討を進めます。
- **鉄道駅や周辺のバリアフリー化**  
光が丘駅などの鉄道駅や周辺のバリアフリー化を推進します。

## 戦略計画14 練馬のみどりを未来へつなぐ

### これまでの主な取組

- ▶四季の香ローズガーデンを大幅にリニューアル
- ▶長期プロジェクト「稲荷山公園」の基本計画の検討
- ▶地域住民による落ち葉清掃の試行を一部の保護樹林で実施
- ▶つながるカレッジねりまに、草花の基礎知識・植栽デザイン・グループ活動のコツなどを学べる「コミュニティ・ガーデナーコース」を開設



<落ち葉清掃を協力して行う地域の皆様>

### 令和4・5年度の主な取組

- 長期プロジェクトである「稲荷山公園」、  
「大泉井頭公園」の整備に向けた検討を進めます。
- 石神井松の風文化公園の拡張に着手し、スポーツ施設を整備します。
- 憩いの森の区民管理や落ち葉清掃など、区民協働事業を拡大します。
- つながるカレッジねりまに、憩いの森の管理に必要な知識や技術を学べるコースを開講します。

## 戦略計画15 脱炭素社会の実現に向けた総合的な環境施策の展開

### これまでの主な取組

- ▶避難拠点の緊急電源として活用するため、公用車にEV（電気自動車）10台、FCV（燃料電池自動車）2台を導入
- ▶5校の避難拠点、北保健相談所と光が丘区民センターに太陽光発電設備と蓄電池を設置



<太陽光発電設備（北保健相談所）>

### 令和4・5年度の主な取組

- 環境基本計画2020やエネルギービジョンなどを統合し、脱炭素社会の実現に向けた計画を策定します。
- 家庭・業務部門の温室効果ガスの排出削減を加速するため、再生可能エネルギー等の導入に係る補助制度を見直します。
- 区立施設への再生可能エネルギー設備の導入を加速します。また、環境に配慮した電力調達を拡大します。
- 公用車を計画的にEV等の電動車に切り替えます。
- 不燃ごみに含まれる金属類等を選別・資源化する不燃ごみ資源化事業を開始します。

# 施策の柱 5 いきいきと心豊かに暮らせるまち

## 戦略計画16 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり

### これまでの主な取組

- ▶創業セミナー、創業支援融資、商店街空き店舗入居促進事業の実施など、創業への総合的な支援を充実
- ▶「産業見本市」や「商談交流会」を実施し、販路拡大など企業活動の活性化を支援
- ▶商店主等が講師になる「まちゼミ」や、パン屋や和菓子屋など個店が連携し行う商品開発・イベントなどの取組を支援



<練馬ビジネスサポートセンター  
経営相談の様子>



<「まちゼミ」の様子>

### 令和4・5年度の主な取組

- 専門家によるデジタル相談の実施、デジタル化を支援する融資制度の新設など、企業活動のデジタル化へ総合的な支援を実施します。
- 動画やSNS等の活用により商店街や個店の魅力を発信する取組を支援します。商店街のキャッシュレス化など、消費行動の変化への取組を支援します。
- 商談交流会の実施回数を増やし、農商連携をはじめとしたテーマ設定、オンラインによる実施など内容を充実します。
- 複数の空き店舗を活用して新たに新店しようとする事業者を、商店会がサポートする取組を支援します。

## 戦略計画17 生きた農と共存するまち練馬

### これまでの主な取組

- ▶都市農業の魅力と可能性を世界に発信するため、令和元年度に世界都市農業サミットを開催
- ▶対象の9割を超える生産緑地を特定生産緑地に指定
- ▶生産緑地の貸借制度を活用し既に18件の貸借が成立
- ▶「とれたてねりま」アプリのリリース、農福連携の推進など、区民が農に親しむ取組の充実



<世界都市農業サミット>



<ブルーベリー観光農園>

### 令和4・5年度の主な取組

- 都市農業の魅力を更に発信するため、(仮称)全国都市農業フェスティバルを開催します。
- 野菜の収穫体験事業をブランド化します。PRには、「とれたてねりま」アプリも活用します。
- 生産緑地の貸借制度を活用し、営農の継続に課題を抱える農業者と経営規模を拡大したい農業者のマッチングを進め、農地保全を推進します。
- 農福連携の推進、小学校における体験学習の充実などの取組を推進します。
- 高松地区で、(仮称)農の風景公園を令和4年度に開設します。



## 戦略計画18 みどりの中で優れた文化芸術を楽しめるまち

### これまでの主な取組

- ▶ 練馬独自の新しい美術館の創造に向けた検討
- ▶ 地域における情報拠点としての図書館のあり方の検討
- ▶ 「みどりの風 練馬薪能」や「真夏の音楽会」など、四季を感じ、誰もが楽しめる年中行事を開催
- ▶ 映像文化の歴史や映画の魅力を伝える「ねりま映画サロン」実施
- ▶ 観光ガイド「練馬カプセル」の充実やデザインマンホール蓋の設置など、練馬の魅力を効果的に発信



<みどりの風 練馬薪能>

### 令和4・5年度の主な取組

- 「みどりの風 練馬薪能」や「真夏の音楽会」などみどり豊かな練馬で優れた文化を体験できるイベントを引き続き実施します。
- 美術館の全面リニューアルに着手します。
- 「(仮称)これからの図書館構想」を策定します。
- スタジオツアー施設開設にあわせ、区の地域資源を活かした映像文化事業を実施します。
- コンセプトツアーや観光ガイド「練馬カプセル」の内容を充実し、農産物の収穫体験、公園や庭園などの区内の地域資源にスポットをあて、練馬の魅力を発信します。

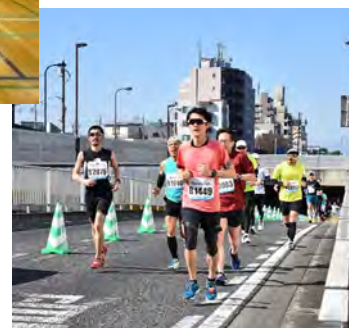
## 戦略計画19 みどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち

### これまでの主な取組

- ▶ 平成31年4月に、練馬区初となる公認陸上競技場「練馬総合運動場公園」をリニューアルオープン
- ▶ 大泉さくら運動公園に車椅子テニス対応の庭球場を新設。大泉学園町希望が丘公園多目的運動場を拡張、人工芝化。光が丘体育館のアリーナ改修
- ▶ ユニバーサルスポーツフェスティバルを開催
- ▶ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組を実施



<ボッチャ体験>



<練馬こぶしハーフマラソン>

### 令和4・5年度の主な取組

- 地域体育館でのパラスポーツ教室を実施します。また、パラスポーツにかかる指導員の育成を推進します。
- 石神井松の風文化公園の拡張工事にあわせ、スポーツ施設の設計に着手します。
- 練馬こぶしハーフマラソンを再開します。

# 施策の柱 6 区民とともに区政を進める

## 戦略計画20 区民協働による住民自治の創造

### これまでの主な取組

- ▶ 転入者への町会・自治会加入案内リーフレットの配布や「町会・自治会運営ハンドブック」、「集合住宅における加入促進ハンドブック」を作成
- ▶ 「練馬つながるフェスタ」の実施、「つながるカレッジねりま」の開講、「地域おこしプロジェクト」の充実

### 令和4・5年度の主な取組

- 町会・自治会を対象に講習会の開催やアドバイザーの派遣等デジタル活用に向けた支援を実施します。
- 町会・自治会の加入促進を強化していきます。
- 「練馬つながるフェスタ」を6か所で地域開催します。
- クラウドファンディングの活用など地域活動団体の事業基盤強化に向け支援を実施します。
- 「つながるカレッジねりま」の修了生が各分野で活躍できるよう、活動体験の場を確保します。
- 「地域おこしプロジェクト」について、令和4年度から新たなプロジェクトを実施します。

## 戦略計画21 窓口から区役所を変える

### これまでの主な取組

「またない」「まごつかない」「何度も書かない」窓口の実現に向けて取組を推進

- ▶ 窓口情報提供システムの導入
- ▶ 区民事務所のフロアマネージャー増員
- ▶ 区民事務所に申請書一括作成システムを導入
- ▶ 住民税等の納付にキャッシュレス決済を導入
- ▶ マイナンバーカード交付体制の強化

### 令和4・5年度の主な取組

- 住民票や印鑑証明書など各種証明書の発行手数料や乳幼児一時預かり事業の利用料の支払いにキャッシュレス決済を導入します。
- 子育てや介護に携わる方々などが時間や場所を選ばずに必要な手続きができるようオンライン申請を推進します。
- お悔やみに関する専用の案内窓口を設置します。

## 戦略計画22 DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

### これまでの主な取組

- ▶ 全国初、LINEで“保活”支援サービス
- ▶ AIチャットボットを活用した情報提供「生活相談チャット」「新型コロナワクチン接種チャット」
- ▶ 講座・説明会、相談・交流事業のオンライン開催「練馬こどもカフェ」「つながるカレッジねりま」など
- ▶ 小・中学校の全児童生徒へタブレットパソコンを配備
- ▶ 防災無線の放送内容を「ねりま情報メール」で自動配信

### 令和4・5年度の主な取組

- 手続きのオンライン化や、キャッシュレス決済の導入など、各分野にわたって、デジタル技術を活用したサービスを展開します。
- 高齢者を対象としたスマホ教室を実施します。
- 自治体システム標準化への対応と並行し、業務プロセスの見直しを進めます。
- AIやRPA、ノーコード開発などを活用し、デジタル化による業務の改革を推進します。
- テレワーク環境の整備、無線LANの構築などに向けたLAN環境の整備方針を策定します。
- DX推進方針の策定や、専門人材の活用、職員の育成など、DXを推進する体制を整備します。



# 新型コロナウイルス感染拡大への対策

区民の命と健康を守り、区民生活を支えるために必要な施策を、他に先駆けて実行してきました。

## 感染拡大の防止と医療提供体制の充実

- 保健師など人員の増強、ワクチン接種や自宅療養の担当組織を設置
- PCR検査検体採取センターの設置
- 診療所でのPCR検査体制の構築
- **【区独自】ワクチン接種体制「練馬区モデル」を構築**
  - ・ 診療所での「個別接種」をメインに、病院・区立施設等での「集団接種」でカバーするベストミックス方式を更に進化
  - ・ 3回目のワクチン接種を前倒し実施
- **【区独自】自宅療養者への支援「三つの柱」の取組を令和3年9月に開始**
  - ・ かかりつけ医等による自宅療養者への健康観察
  - ・ 往診医・訪問看護師・薬剤師の連携による自宅療養支援
  - ・ 練馬区酸素・医療提供ステーションの開設
- 病院への経営支援補助金、医療従事者への特殊勤務手当の補助

## 困窮する区民・事業者への支援

- 生活相談コールセンターの設置
- **【区独自】生活再建支援給付金の支給、ひとり親家庭への臨時給付金の支給**
- 妊婦、新生児へのこども商品券を配布
- **【区独自】特別貸付・借換特別貸付の実施、プレミアム付商品券事業の補助**

## 社会インフラの堅持と社会経済活動を支える方々への支援

- 保育所等の原則開園の堅持
- **【区独自】保育士や介護従事者等への臨時特別給付金の支給**
- 児童生徒用のタブレットパソコンを全校配備

## デジタル化の推進

- 商店街キャッシュレス化促進支援、町会・自治会デジタル活用支援事業
- テレワーク環境の整備

## 第2次みどりの風吹くまちビジョン改定アクションプラン [概要版]

---

令和4年(2022年)3月

発行 練馬区企画部企画課

住所 〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

電話 (03) 3993-1111(代表)

FAX (03) 3993-1195

練馬区ホームページ <https://www.city.nerima.tokyo.jp>